



厳しい暑さが続いた今年の夏も、少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。この夏、日本のアスリートたちの活躍は、多くの感動と勇気を私たちに与えてくれました。オリンピック・パラリンピックで彼らが獲得した数々のメダルは、その努力と成果の証であり、日本の底力を象徴しています。これらの成功は競技場にとどまらず、私たちの経済やビジネスにも多くの示唆を与えました。アスリートたちは世界を見据え、最高の技術をベンチマークにしながら練習を積み、ついに世界の頂点に立ちました。日本のスタートアップも、よりグローバルな視野で成長戦略を描き、高みを目指すことが求められます。挑戦を恐れず、絶え間ない努力を続けることで、世界に通じるイノベーションを生み出せるよう、引き続き支援して参ります。

東北大学連携ビジネスインキュベータ 【T-Biz】 チーフインキュベーションマネージャー(CIM) 松村 伸一

中小機構 東北本部 新体制をご紹介します

東北大学連携ビジネスインキュベータ(T-Biz)の運営を担当する独立行政法人 中小企業基盤整備機構 東北本部 企業支援部 支援推進課は、7月の人事異動により、新たな体制で入居企業の皆様のご支援をさせていただいております。部長小村の本部販路支援部への異動に伴い、支援推進課長の松尾が企業支援部長に、支援推進課長には新たに安藤が着任しました。本年度は担当職員の横田・児玉・柴田、そして同じく4月よりT-Bizチーフインキュベーションマネージャーとなった松村とともにこの新体制にて皆様の事業活動をサポートさせていただきます。新任の安藤より紙面をお借りしてご挨拶させていただきます。

皆さん、こんにちは。7月に着任いたしました支援推進課長の安藤 健です。T-Biz IM室及び当課メンバーが日頃から大変お世話になり、誠にありがとうございます。着任直後から早速、当課メンバーである横田・児玉・柴田と分担して入居企業様との定例ヒアリングに参加させていただきました。10年以上前のこととなりますが、近畿本部運営の大学連携型ビジネスインキュベータの立ち上げに私自身も関わり、その後、IM室に常駐しておりましたので、皆様の事業進捗状況をお聞きする中で懐かしさを感じた次第です。その経験を活かし、皆様の事業目標の達成に向けご支援させていただくとはもちろん、T-Bizとしても、地域での存在意義をより一層高められるように邁進いたします。これからも引き続き、中小機構とT-Biz IM室をどうぞよろしくお願いいたします。



写真左より 竹井さん、柴田課員、安藤課長、松尾部長、児玉主任、横田課長代理

主要メディア掲載

■ 2024年 7月 5日 NHK NEWS ALISys
『外務省 海外での地雷対策を支援する際の政策パッケージ 発表へ』
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240705/k10014501781000.html>

2024年 7月 7日 AFP BB News ALISys
『日本、ウクライナで地雷除去支援へ カンボジアと協力』
<https://www.afpbb.com/articles/-/3527860>

2024年 7月 日経ビジネス ALISys
『池上彰と知る ウクライナと世界の未来と私たち』
第2章 ウクライナ復興へ、動く日本
<https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/ONB/23/jica1115/chapter02/p3/>

■ 2024年 7月12日付 河北新報 ファイトケミカルプロダクツ
『第三者割当増資で資金調達、事業拡大に活用 仙台の
ファイトケミカルプロダクツ みやぎ生協など引き受け』
<https://kahoku.news/articles/20240711khn000068.html>

■ 2024年 5月14日 BUSINESS INSIDER ストーリーライン
『「デカフェはまずい」デザイン思考を日本に持ち帰った
デザイナーは、なぜ「コーヒー」に目をつけたのか』
<https://www.businessinsider.jp/post-287076>

2024年 8月 1日 月間事業構想 9月号 ストーリーライン
『デカフェを起点に、コーヒー産業に新たな循環モデルを生む』
<https://www.projectdesign.jp/articles/33553253-4742-4d9b-8ab8-956f5c82875f>

2024年 9月 3日付 河北新報 ストーリーライン
『カフェイン量を調整できるコーヒーマシン、東北大発スタート
アップのストーリーラインが全国展開 企業向けに3日から』
<https://kahoku.news/articles/20240902khn000049.html>

■ 2024年 9月12日付 神戸新聞 HKテクノロジー
<次の一手> 『小さな提案で現場を省力、製造業支える。』
<https://www.kobe-np.co.jp/news/economy/202409/0018109199.shtml>

T-Biz入居企業ご紹介

株式会社CoSMIC-DX

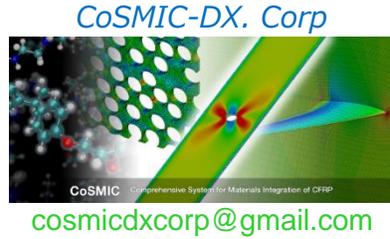
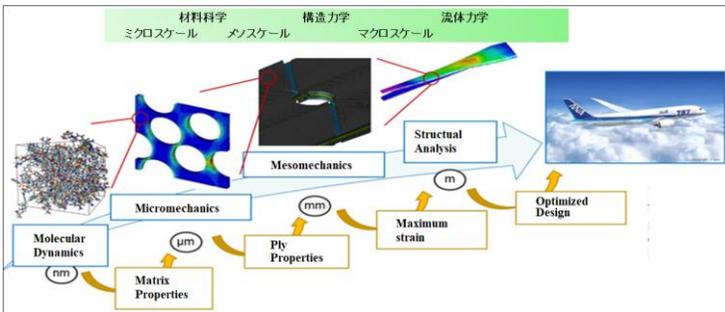
CoSMIC-DX. Corp

研究 DX が 日本企業の未来を変える

『CoSMIC』とは？

マテリアルズインテグレーション(MI)システムとは、材料工学手法に実験及び理論計算に基づいたデータ科学を活用して、計算機上でプロセス・組織・特性・性能をつないで材料開発を加速する統合型材料開発システムで、計算機上で材料の諸事象をバーチャルに再現することで、材料開発の時間短縮・コスト低減を図ることを主目的としています。**CoSMIC**(Comprehensive System for Materials Integration of CFRP)は炭素繊維強化プラスチック(CFRP)を取り扱うMIシステムとして、東北大学が中心となり開発が進められています。

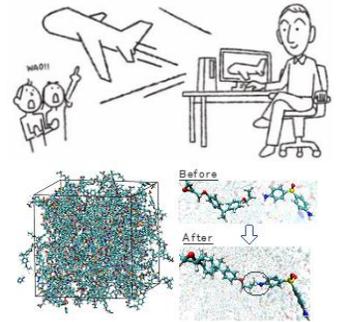
多くの素材産業の事業開発と製品化において、現場の蓄積ノウハウと経験に頼る場面は未だに多く、開発工程における試作品のトライ&エラーに伴う開発費の増大や納期遅延は、短納期での製品開発競争が激化する現代においては、企業経営を圧迫する重要な課題となっています。私どもCoSMIC-DXは、**CoSMIC**を顧客企業のニーズに合うように、その都度、開発・改良し、お客様に最適なサポートを行い、産業競争力向上に寄与します。そのサポート事業を通じ、サイバー(CoSMIC)とフィジカル(実験・試作)が融合したデジタルツインをシステムとしてお客様の社内に構築することで、新たな製品の開発加速に貢献する「現場の蓄積ノウハウと経験」に頼らない研究DXプラットフォームを提供してまいります。



代表取締役 CTO
岡部 朋永 教授

今後の目標と展望は？

岡部教授を代表とするCoSMICコンソーシアムに参画いただいている企業は52社(2024年9月末現在)を超えました。今後、さらに多くの製造業分野にCoSMICを紹介し、産学共創によるグリーン分野に関するイノベーションエコシステムの構築を図ってゆきます。



CoSMICは、これまでに航空機構造用のCFRP設計をターゲットとした12個のモジュールを開発しており、原子・分子スケールから機体構造までのマルチフィジックス/マルチスケールシミュレーションが可能です。今後はユーザーニーズの更なる高まりに応え、航空機産業以外の製品開発を支援するためのモジュール開発も進めてまいります。

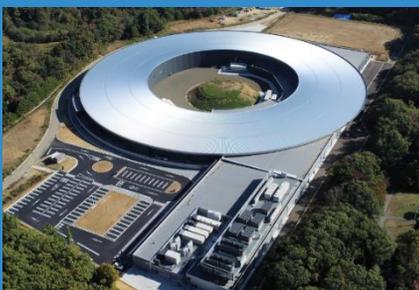
2024年4月に運用を開始した次世代放射光施設ナノテラス。私たちCoSMIC-DXは、計測(ナノテラス)と計算(CoSMIC)の融合で日本企業の未来を変えてまいります。

T-Biz入居のメリットは？

T-Bizは、仙台駅から地下鉄東西線で9分、さらに地下鉄青葉山駅のそばであり、出張にもお客様の来訪にも大変便利な立地です。大学発スタートアップ企業としてはキャンパス内で大学研究室と密に繋がりながら事業を行えることは非常に重要なことです。

その他、宮城県や仙台市からの賃料補助をはじめ、スタートアップの事業経営に必要な各種支援・助成制度の情報をタイムリーに入手でき、IM室をはじめとして中小機構のサポートが常に受けられることは心強いことです。

《企業プロフィール》



提供：(一財)光科学イノベーションセンター

岡部朋永東北大学教授(東北大学グリーン未来創造機構 グリーンクロステック研究センター長)を中心とする研究チームが20年以上に渡り蓄積してきた解析・シミュレーションツール『CoSMIC』を顧客企業のニーズに合うように開発・改良し、それに基づく利活用に関するサポートを行うことを目的として2024年1月に設立。「現場の蓄積ノウハウと経験」に頼らない研究DXプラットフォームの提供は、ナノテラスとの連携による新材料開発を計画する国内大手製造メーカーから大きな注目を集めている。

株式会社CoSMIC-DX

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40
東北大学連携ビジネスインキュベータ 405号室

<https://www.cosmic-dx.com/>



展示会出展報告

■三次元積層型エッジAIチップの**東北マイクロテック**は、6/25～27にグルノーブル(フランス)で開催された『**Leti Innovation Days 2024**』に出展しました。

フランス原子力・代替エネルギー庁(CEA)の附属機関である電子情報技術研究所(Leti)は、半導体分野における世界でも有数の研究機関であり、今年のイベントにも世界中から1000名を超す半導体の専門家が集い、最新の革新的技術に触れたとのこと。



会場ブース前の元吉社長(真ん中)

「東北マイクロテックの独自技術をたくさんの来訪者に紹介することが出来て大変有意義な時間となった」と元吉社長は語り、来年も参加の意向とのこと。今後がますます楽しみな東北マイクロテックです。

T-Micro
Advanced 3D-IC & MEMS Technologies

<https://www.t-microtec.com/>

<https://leti-innovation-days.com/2024/lid-world-partners-corner/>

■「We design sustainable futures with deep tech」をミッションに掲げ、超臨界二酸化炭素抽出法によるデカフェの研究・製造・販売を行う**ストーリーライン**は、8/7～9にバンコク(タイ)で開催された『**TechsaUCE Global Summit 2024**』に出展しました。

岩井社長は、初日開催のJETRO Japanese Startup Showcase に登壇、同社のミッションと技術を広くアピールし、ブース前ではテレビ取材も受けました。タイをはじめ東南アジア各国にもデカフェの潜在的需要があることが実感できた出展でした。



テレビ取材を受ける岩井社長



ステージ上の岩井社長(中央)

<https://storyline-inc.com/>
<https://www.summit.techsaUCE.co/>

■「ボールSAWセンサ」技術により、微量水分計や超小型ガスクロマトグラフを開発・製造・販売する**ボールウェーブ**は、7/30～8/1に東京ビッグサイトで開催された『**国際発酵・醸造食品産業展**』に出展し、お酒や醤油などの香り分析に最適な手のひらサイズのカス分析装置「Sylph」を食品業界の皆様にご紹介しました。バイオリアクターを活用した食品製造工程にとり、香りや排出ガスを数値分析できるガス分析装置はプロセスモニタリングに非常に有用な装置であり、食品大手企業からも注目されています。



JASIS 2024のボールウェーブブース

■9/4～6には、幕張メッセで開催された分析・計測に関するアジア最大級の展示会『**JASIS 2024**』に今年も出展、こちらでも最先端技術による微量水分計・超小型ガスクロマトグラフを最先端の科学・分析システムやソリューションを求める多くの来訪者に紹介し、今年も活気あふれるブースとなりました。

■同じく9/4～6に開催の『**SEMICON TAIWAN 2024**』では、9/2にプレスリリースした共同研究先であるTRONIC PURITY社(台湾)のブースにおいてボールウェーブの製品と技術を紹介しました。

半導体製造業から醸造・食品製造業まで幅広く活用されるボールSAWセンサ技術、今後もこのボールウェーブの独自技術に注目してください。

<https://www.ballwave.jp/>



■秋の展示会シーズンを迎え、各社、積極的に自社技術のアピールを計画しております。主な展示会は下記のとおりです。

『 Bio Japan 2024 』	10/9～11 パシフィコ横浜	………TBA (中小機構ブースにて出展)
『 CEATEC 2024 』	10/15～18 幕張メッセ	……… 東北マイクロテック
『 NSS/MIC & RTSD 』	10/29～31 タンパ(USA)	……… 東北マイクロテック
『 Bio Europe 2024 』	11/4～6 ストックホルム(スウェーデン)	……… ボールウェーブ (JETROブースにて出展)
『 PEGS Europe 2024 』	11/5～7 バルセロナ(スペイン)	……… レボルカ
『 MEDICA 2024 』	11/11～14 デュッセルドルフ(ドイツ)	……… ライフラボラトリ (JETROジャパン・パピリオンにて出展)
『 SEMICON Europa 2024 』	11/12～15 ミュンヘン(ドイツ)	……… ボールウェーブ (東北大学 μSICと共同出展)
『 SEMICON Japan 2024 』	12/11～13 東京ビッグサイト	……… ボールウェーブ

Go-Tech事業、NEDO事業 採択

■超臨界二酸化炭素抽出法によるデカフェの研究を行う**ストーリーライン**と、ウイルスを不活化するプラズママイクロミスト装置を開発する**ナルルクス**は、中小企業庁による令和6年度「成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)」通常枠に採択されました。

<https://www.chusho.meti.go.jp/support/innovation/2024/240624saitaku.html>

ストーリーラインの研究開発計画名は『高品質グレード豆に最適化された超臨界CO₂カフェイン除去技術及び製造技術の開発』です。今後は、より大型の設備による研究開発を加速し、2025年の量産化を目指します。

STORYLINE

<https://storyline-inc.com/>

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/companylist/report/2024/rvuad1000003z9c.html>

ナルルクスの研究開発計画名は『世界初、有人環境で水と空気だけでウイルスを高速不活化するプラズママイクロミストモジュールの研究開発』です。2025年の大阪万博に試作機を展示する予定で、これにより一層の開発促進が期待されます。

NALUX

<https://www.nalux.co.jp/>

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/companylist/report/2024/rvuad1000003zg4.html>

■“最先端技術を最も速く社会に届ける”をテーマに企業課題解決のためのAI解析による最適化ソリューションを提供する**シグマアイ**は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の『量子・古典ハイブリッド技術のサイバー・フィジカル開発事業』の実施予定先として採択されました。テーマ名は、「量子古典 AI ハイブリッド汎用計算手法による製造サプライチェーン最適化」です。

<https://www.sigmailab.com/>

ΣSigma-i

https://www.nedo.go.jp/koubo/CD3_100362.html

